

## 単元名 視点の冒険(絵や彫刻など)

配当時間 5時間

- 単元の目標 (1) 形や色彩などが感情にもたらす効果や、見上げる、見下ろす、近づくなど視点の位置による見え方の違いなどを基に、そこから生じる印象の変化を全体のイメージで捉えることができる。
- (2) 視点の違いや構図の工夫によるイメージの変化を基に主題を生み出し、構図などの効果を考え創造的な構成を工夫し、心豊かに表現できる。造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めることができる。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に視点の違いによるイメージの変化などを基に構想を練ったり、意図に応じて表現方法を工夫して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとする。

## 標準的な展開例

11270102\_001

【準備等】画用紙、タブレット、筆記用具、絵の具

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 作品を鑑賞し、主題を考え、構想を練る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の参考作品を鑑賞し、作者の表現の意図や工夫などを考える。</li> </ul> <p>★視点を变えることにより、どのように印象が変わるだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>視点を工夫して、撮影した校内の風景画像などを鑑賞する。</li> </ul> <p>2 視点を工夫して、構図を練る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>視点を工夫して構図を練らせ、描きたい場所を見付けさせる。</li> </ul> <p>★視点を工夫して、構図を考えよう。</p> <p>3～4 下絵を描き、彩色する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どのような視点で表すかを考え作品の主題を生み出し、下絵を描く。</li> </ul> <p>★視点を变えて、作品の主題を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵の具や筆の効果を生かして、彩色する。</li> </ul> <p>5 鑑賞会を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>互いの作品について鑑賞会を行う。</li> </ul> <p>★作品から視点の違いや構図の工夫を感じ取ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主題と視点の工夫について発表し合い、視点を变えることのよさや面白さを感じ取り味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「どんな場所から見ているか」、「どんな感じがするか」などについて考えさせ発表させる。</li> <li>作者の表現の意図や工夫などについて考えさせる。</li> <li>身近な風景の中にも視点を变えて見ると意外な感じ方ができることに気付かせる。</li> </ul> <p>【評】視点の違いによるイメージの変化を生かして表すことに関心をもち、主体的に創造的な工夫をして表したり、表現の工夫を感じ取ったりする活動を通して、「主体的に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>描き始める前に、視点を变えながら効果を確かめさせ、構図を練らせる。</li> <li>カメラなどを用いて視点の変化による構図の変化を感じ取らせることもできる。</li> </ul> <p>【評】視点の違いや構図の工夫によるイメージの変化を基に構図などの効果を考え、構想を練る活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>視点を变えることで新鮮な感じを受け感動した場所などから作品の主題を生み出させる。</li> <li>必要に応じて一点透視図法などを指導する。</li> <li>主題のイメージに合うように、絵の具の濃淡や筆のタッチなどを工夫させる。</li> <li>必要に応じて色彩による遠近の表し方などを指導する。</li> </ul> <p>【評】見上げる、見下ろす、近づくなど、視点の位置による見え方の違いに着目し、そこから生じる印象の変化を捉え、絵の具などの特性を生かして表す活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どのような視点で風景を捉え、どのようなイメージをもって表現の工夫をしたかなどについて発表させる。</li> <li>他者の作品のよさや表現の工夫に共感して味わえるよう、肯定的な見方で鑑賞会が行えるよう工夫する。</li> </ul> <p>【評】視点の違いや構図の工夫による造形的なよさや美しさイメージの変化を感じ取るなどして、見方や感じ方を深める活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p>

## 【備 考】

本単元は、見慣れた風景でも視点を变えて見ることにより、違った感じ方やおもしろさ、意外な美しさなどを感じ取ることができる。よさや美しさは身近なところにもあり、見る側の視点や姿勢、気持ちのもち方により様々な発見があることに気付かせる。導入においては、提示資料のしている場所を当てさせたりどのような感じがするかなどを述べさせたりすることで、視点を变えて見ることのおもしろさや見え方の違いによる感じ方などを実感させる。